



組みを進めます。

- ・国や県のモデル事業を参考に、学校が家庭・地域と連携して、子どもの生きる力を育む読書活動を推進するよう努めます。

### ③ 学校関係者の意識高揚

- ・読書活動の持つ意義や効果を教員が共通して認識できるような研修を進め、読書活動の効果を学校教育活動全体に生かせるよう努めます。
- ・津山市学校教育センター図書館教育部会、学校図書館協議会司書研修会等の充実を図ります。

#### 障害のある子どもへの読書活動の推進

- ・障害のある子どもが豊かな読書活動を体験できるよう、知的障害、身体的障害など障害の種類や程度に応じた選書や環境の工夫、視聴覚機器活用等の優れた実践事例の紹介等により、推進を図ります。

#### 保育所（園）や幼稚園における子どもの読書活動の推進

- ・幼児期に読書の楽しさと出会うため、乳幼児が絵本や物語に親しむ活動を積極的に行えるよう各種研修会への参加や園内研修の実施等、保育士や教諭の理解を深める取り組みを促進します。
- ・本の読み聞かせを毎日実施するよう努めます。
- ・絵本の貸し出しを奨励し、保護者の意識啓発を図り、家庭での読書活動を推進します。
- ・未就園児を対象とした子育て支援活動の中で、読み聞かせ等を推進します。

【地域に開かれた幼稚園づくり】

## (2) 施設環境の整備と充実

学校図書室は、児童生徒の自由な読書活動や読書指導の場として、想像力を培い学習に対する興味・関心等呼び起こし、豊かな心を育む「読書センター」としての機能と、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援し、教育課程の展開に寄与する「学習情報センター」としての機能を果たし、学校教育の中核的な役割を担うことが期待されています。特に学校教育においては、さまざまな体験活動を通して、児童生徒が自ら考え、主体的に判断し、行動できる資質や能力などの「生きる力」を育むことが求められており、学校図書室には、様々な学習活動を支援する機能を果たすことが求められています。今後、子どもの「生きる力」の育成に向け、より一層の図書資料の計画的整備、学校図書室の施設・設備の整備・充実及び情報化の推進が課題となっています。

司書教諭は、学級担任や学校司書等の教職員と連携し、学校図書室の資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導等を行うなど、学校図書室の運営・活用について中心的な役割を担うものであり、その配置の促進を図ることが課題となっています。また、学校には親子で本を読むことができる身近な場所として、児童生徒を含む地域住民に対し、図書室をはじめとする学校施設を積極的に開放することが求められています。